評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ニーズをとらえる力
［4-新人］フィジカルアセスメントの基本（臨床判断の基礎）：正常と異常の区別

1．「息が苦しい」と言っている患者がいます。フィジカルイグザミネーションで、どのようなことを確認しますか。列挙してください。

フィジカルイグザミネーションは、 head to toe の原則にしたがって、頭部・顔、頸部、上肢、胸部・背部、腹部、直腸・肛門・生殖器、下肢、神経系と網羅して客観的に観察する必要がある。配布資料5ページを参考に、各部位での観察項目をあげて欲しい。それを視診、触診、打診、聴診に分けるとより良いと考える。その上で、各観察項目がどうであれば正常と判断するのか、どうであれば異常と判断するのか、説明できることが望ましい。

2．1で列挙した項目の正常と異常を書き出してください。

例）＜視診：胸郭の動き＞
・正常
前胸部の胸郭の動きは上位肋骨部では上下に広がり、下位肋骨では左右に広がる
呼気時間と吸気時間は同じ時間である
呼気のあとに休止期がある
呼吸のリズムはほぼ規則的で一定のリズムである

・異常
胸郭の動きが小さい、または動きがない、左右差がある
吸気時間または呼気時間が長い
休止期がない
呼吸リズムの変調がある（チェーンストークス呼吸、失調呼吸など）